

5 病院事業

(1) 事業数及び経営規模

令和2年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数も前年度と同数の27病院となっている。事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定企業会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が16病院、町営が6病院、一部事務組合営が4病院となっている。

【市営：7事業16病院】

仙台市、石巻市（2病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

【一部事務組合営：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は5病院で前年度に比べ1病院減少、200床以上300床未満は1病院で前年度に比べ1病院増加、100床以上200床未満は6病院、50床以上100床未満は前年度と同数の10病院、50床未満は前年度と同数の4病院となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（500床）、気仙沼市立病院（340床）、栗原市立栗原中央病院（313床）及びみやぎ県南中核病院（310床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は前年度と同数の7事業（仙台市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）、一部を適用している事業も前年度と同数の9事業、指定管理者制度（代行制）導入も前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっている。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、床、％）

経営規模	市		町		一組		計		構成比	
	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	
300床以上	4	1,678	0	0	1	310	5	1,988	19.2	48.4
200床以上300床未満	0	0	0	0	1	262	1	262	3.8	6.4
100床以上200床未満	4	659	1	121	1	170	6	950	23.1	23.1
50床以上100床未満	5	393	4	288	1	90	10	771	38.5	18.8
50床未満	3	103	1	36	0	0	4	139	15.4	3.4
計（病院）	16	2,833	6	445	4	832	26	4,110	100.0	100.0
経営形態	全部適用	5	1	1	7	41.2				
	一部適用	2	5	2	9	52.9				
	指定管理者（代行制）	0	0	1	1	5.9				
	計（事業）	7	6	4	17	100.0				

（注）病院数は、年度末現在の数である。

(2) 業務の状況

令和2年度末における病床数は4,110床で、前年度に比べ64床(1.5%)減少している。病院別では、栗原市立栗原中央病院が16床の減床、蔵王町国民健康保険蔵王病院が2床の減床、公立刈田総合病院が46床の減床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が1,021千人で、前年度に比べ91千人(8.2%)減少、年延外来患者数は1,705千人で、前年度に比べ170千人(9.1%)減少している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は108人で、前年度に比べ9人(7.7%)減少、1病院当たりの1日平均外来患者数は268人で、前年度に比べ29人(9.8%)減少している。

病床利用率は68.1%で、前年度に比べ4.1ポイント低下している。このうち、一般病床利用率は69.7%で、前年度に比べ3.8ポイント低下している。

令和2年度末における職員数は7,746人で、前年度に比べ2,391人(44.6%)増加している。

なお、令和2年度に職員数が急増しているのは、会計年度任用職員制度の施行によるものである。

第2表 病床数及び患者数の推移

年 度 項 目	H28	H29	H30	R1	R2	対前年度比較		
						b - a c	(c/a) ×100(%)	
年度末病床数(床) A	4,299	4,235	4,214	4,174	4,110	▲64	▲1.5	
年 延 患 者 数 (千人)	入 院	1,096	1,122	1,112	1,112	1,021	▲91	▲8.2
	外 来	1,982	1,953	1,928	1,875	1,705	▲170	▲9.1
一 日 平 均 患 者 数 (人/1病院)	入 院	117	118	117	117	108	▲9	▲7.7
	外 来	316	305	301	297	268	▲29	▲9.8
病 床 利 用 率 (%)	(71.6)	(72.5)	(72.9)	(73.5)	(69.7)	(▲3.8)	-	
	71.1	72.0	72.3	72.2	68.1	▲4.1	-	
年度末職員数(人) B	5,267	5,322	5,350	5,355	7,746	2,391	44.6	
一 床 当 たり 年度末職員数(人) B/A	1.23	1.26	1.27	1.28	1.88	0.60	-	

(注)病床利用率欄の()内は、一般病床分である。

(3) 経営状況

ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は1,028億19百万円、経常費用は1,042億14百万円となっており、この結果、経常収支比率が98.4%となり、前年度に比べ3.7ポイント上昇している。

経常利益が生じた事業は17事業(想定企業会計を除く。)のうち6事業(病院数では26病院のうち9病院)で、前年度から3事業増加(病院数は4病院増加)となっており、その額は11億4百万円で、前年度に比べ7億64百万円(225.2%)増加している。

経常損失が生じた事業は11事業(17病院)で、前年度から3事業減少(病院数は4病院減少)となっており、その額は27億99百万円で、前年度に比べ30億71百万円(52.3%)減少している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は1,061億12百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用は1,080億7百万円となっており、この結果、総収支比率は98.2%で、前年度に比べ3.7ポイント上昇している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、18億95百万円の赤字が生じており、前年度に比べ赤字が39億49百万円（67.6%）減少している。

累積欠損金を有する事業は17事業（25病院）で、前年度と同数（病院は1病院減少）となっており、その額は1,004億13百万円で、前年度に比べ5億65百万円（0.6%）減少している。

不良債務を有する事業は4事業で、前年度から1事業減少しており、その額は15億66百万円で、前年度に比べ10億4百万円（39.1%）減少している。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

(単位:事業、百万円、%)

項目	年 度	H28	H29	H30	R1	R2	対前年度比較	
							b - a	(c/a) ×100
					a	b	c	
総 収 益	A	97,067	96,626	98,625	99,954	106,112	6,158	6.2
経 常 収 益	B	92,735	95,626	97,864	99,550	102,819	3,269	3.3
医 業 収 益	C	79,362	81,949	83,131	84,856	82,395	▲2,461	▲2.9
うち料金収入		71,927	74,446	75,432	76,976	74,706	▲2,270	▲2.9
うち受託工事収益	D	0	0	0	0	0	0	-
特 別 利 益		4,332	1,000	761	404	3,293	2,890	716.1
総 費 用	E	99,726	102,426	103,492	105,798	108,007	2,209	2.1
経 常 費 用	F	98,206	101,498	103,152	105,081	104,514	▲566	▲0.5
医 業 費 用		93,120	96,891	98,472	99,941	99,275	▲666	▲0.7
うち職員給与費		41,962	43,226	44,098	44,507	50,242	5,736	12.9
支 払 利 息		1,652	1,521	1,456	1,410	1,282	▲128	▲9.1
特 別 損 失		1,520	928	340	717	3,492	2,775	387.0
経 常 損 益		▲5,471	▲5,872	▲5,289	▲5,531	▲1,696	3,835	▲69.3
経 常 利 益		143	433	390	339	1,104	764	225.2
経 常 損 失	G	5,614	6,305	5,679	5,870	2,799	▲3,071	▲52.3
純 損 益		▲2,659	▲5,800	▲4,868	▲5,844	▲1,895	3,949	▲67.6
純 利 益		2,178	290	739	489	1,283	794	162.3
純 損 失		4,837	6,091	5,607	6,333	3,177	▲3,156	▲49.8
累 積 欠 損 金	H	84,798	90,418	95,210	100,978	100,413	▲565	▲0.6
不 良 債 務	I	496	1,412	1,914	2,571	1,566	▲1,004	▲39.1
経 常 収 支 比 率 B/F		94.4	94.2	94.9	94.7	98.4	3.7	-
総 収 支 比 率 A/E		97.3	94.3	95.3	94.5	98.2	3.7	-
医業収益 に対する 割合	経 常 損 失 比 率 G/(C-D)	7.1	7.7	6.8	6.9	3.4	▲3.5	-
	累 積 欠 損 金 比 率 H/(C-D)	106.8	110.3	114.5	119.0	121.9	2.9	-
	不 良 債 務 比 率 I/(C-D)	0.6	1.7	2.3	3.0	1.9	▲1.1	-
総 事 業 数	J	18	18	18	18	18	0	0.0
経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数	K	15	13	14	14	11	▲3	▲21.4
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数	L	16	16	16	17	17	0	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数	M	3	2	3	5	4	▲1	▲20.0
総事業数 に対する 割合	経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数 K/J	83.3	72.2	77.8	77.8	55.6	▲22.2	-
	累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 L/J	88.9	88.9	88.9	94.4	94.4	0.0	-
	不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 M/J	16.7	11.1	16.7	27.8	22.2	▲5.6	-

(注) 不良債務 = (流動負債 - 建設改良等の財源に充てるための企業債 - 建設改良等の財源に充てるための長期借入金 - 地方債に関する省令附則第8条の3に係るリース債務 (PFI法に基づく事業に係る建設事業費等)) - (流動資産 - 翌年度へ繰り越される支出の財源充当額)

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は126億58百万円で、前年度に比べ5億18百万円（4.3%）増加している。このうち、建設改良費は50億67百万円で、前年度に比べ6億81百万円（15.5%）増加しており、企業債償還金は71億29百万円で、前年度に比べ5億57百万円（7.2%）減少している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の103億35百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等の17億22百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は40.0%で、前年度に比べ3.9ポイント上昇しており、建設改良のための企業債償還金の割合は55.7%で、前年度に比べ7.0ポイント低下している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較	
		H28	H29	H30	R1	R2	b - a	(c/a) ×100
					a	b	c	
資本的支出	建設改良費	19,452	10,382	5,369	4,386	5,067	681	15.5
	企業債償還金	14,828	7,328	7,661	7,686	7,129	▲557	▲7.2
	うち建設改良費のためのもの	11,081	7,271	7,593	7,608	7,051	▲557	▲7.3
	その他	152	1,131	109	69	463	394	573.5
	計	34,432	18,840	13,139	12,141	12,658	518	4.3
同 上 財 源	内部資金	6,066	3,037	2,407	2,407	1,722	▲685	▲28.5
	外部資金	28,335	15,803	10,732	9,233	10,335	1,103	11.9
	企業債	8,150	3,602	4,420	3,860	4,020	161	4.2
	うち建設改良費のためのもの	8,150	3,602	4,420	3,860	3,264	▲596	▲15.4
	他会計出資金	4,879	5,407	4,414	4,009	4,384	375	9.4
	他会計負担金	1,477	1,162	1,352	1,399	1,281	▲118	▲8.4
	他会計借入金	0	0	0	0	90	90	皆増
	他会計補助金	82	89	300	41	31	▲10	▲23.7
	国・県補助金	13,677	5,406	132	112	799	688	615.9
	繰越事業財源(▲)	56	0	0	221	79	▲143	▲64.5
計	34,402	18,840	13,139	11,639	12,057	417	3.6	
財源不足額		30	0	0	501	602	101	20.1
当年度同意等債で 未借入又は未発行の額		0	0	0	0	156	156	皆増
実質財源不足額		30	0	0	501	446	▲55	▲11.1

(注) 1 内部資金＝補てん財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は747億6百万円で、前年度に比べ22億70百万円（2.9%）減少している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が4万8,420円で、前年度に比べ2,755円（6.0%）増加しており、外来収益が1万4,810円で840円（6.0%）増加している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは23万8,507円で49,386円（17.2%）減少しており、看護部門1人当たりでは5万6,980円で1,442円（2.5%）減少している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

年 度		H28	H29	H30	R1	R2	対前年度比較		
							b - a	(c/a)	
項 目						a	b	c	×100
		料 金 収 入（百万円）		71,927	74,446	75,432	76,976	74,706	▲2,270
内 訳	入院収益（百万円）	47,454	49,399	50,205	50,786	49,460	▲1,327	▲2.6	
	外来収益（百万円）	24,473	25,047	25,228	26,189	25,246	▲943	▲3.6	
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	43,293	44,014	45,161	45,665	48,420	2,755	6.0	
	外 来	12,347	12,826	13,086	13,970	14,810	840	6.0	
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	277,363	279,255	266,535	287,893	238,507	▲49,386	▲17.2	
	看護部門	55,625	57,895	57,780	58,422	56,980	▲1,442	▲2.5	

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金
が146億23百万円、資本的収入に計上される繰入金が57億86百万円、合わせて204億
10百万円で、前年度に比べ11億56百万円（6.0%）増加している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は13.8%で、前年度と同
数となっており、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計に対する割合は
54.4%で、前年度に比べ4.5ポイント低下している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は496万6千円で、前年度に比べ35万3千円（7.7%）
増加している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度	H28	H29	H30	R1	R2	対前年度比較		
								a	b	b - a c
他 会 計 か ら の 繰 入 金	収 益 的 収 入 A		13,147	14,193	14,263	13,805	14,623	819	5.9	
	う ち	負 担 金		10,334	10,935	11,074	10,518	10,956	437	4.2
		補 助 金		2,799	2,852	3,152	3,240	3,621	381	11.8
		資 本 費 繰 入 収 益		0	0	0	0	0	0	-
		特 別 利 益		14	405	36	46	46	0	0.0
		資 本 的 収 入 B		6,438	6,658	6,066	5,449	5,786	338	6.2
	う ち	出 資 金		4,879	5,407	4,414	4,009	4,384	375	9.4
		負 担 金		1,477	1,162	1,352	1,399	1,281	▲118	▲8.4
		借 入 金		0	0	0	0	90	90	皆増
		補 助 金		82	89	300	41	31	▲10	▲23.7
計 (A+B) C			19,585	20,850	20,329	19,254	20,410	1,156	6.0	
総 収 益 D			97,067	96,626	98,625	99,954	106,112	6,158	6.2	
資 本 的 収 入 E			29,600	15,817	10,732	9,254	10,634	1,379	14.9	
繰 入 率	総収益に対する繰入率 A/D		13.5	14.7	14.5	13.8	13.8	0.0	-	
	資本的収入に対する繰入率 B/E		21.8	42.1	56.5	58.9	54.4	▲4.5	-	
一 床 当 た り	収 益 的 収 入 (千円)		3,058	3,351	3,385	3,307	3,558	251	7.6	
	資 本 的 収 入 (千円)		1,498	1,572	1,439	1,305	1,408	102	7.8	
	計 (千円)		4,556	4,923	4,824	4,613	4,966	353	7.7	

※ 一床当たり繰入金 = $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額は、医師が65万4,214円、看護師が45万7,446円、准看護師が29万3,752円、事務職員が32万9,289円、その他の職員が35万1,083円、全職員平均では46万2,028円で、前年度に比べ10万6,816円(18.8%)減少している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

項目	年 度					対前年度比較	
	H28	H29	H30	R1 a	R2 b	b - a c	(c/a) ×100
医 師	1,495,558	1,511,160	1,488,585	1,478,529	654,214	▲824,315	▲55.8
看 護 師	452,926	461,701	466,114	470,967	457,446	▲13,521	▲2.9
准 看 護 師	459,561	442,443	466,801	451,667	293,752	▲157,915	▲35.0
事 務 職 員	521,654	500,994	493,094	493,318	329,289	▲164,029	▲33.3
そ の 他 職 員	427,036	431,962	430,698	433,785	351,083	▲82,702	▲19.1
全 職 員	560,330	566,049	565,596	568,844	462,028	▲106,816	▲18.8

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額=(基本給+手当)/年間延職員数

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は352人で、前年度に比べ206人(36.9%)減少しており、職員1人当たりの料金収入は964万4千円で、前年度に比べ473万円(32.9%)減少している。

病床100床当たりの職員数は、医師が47.6人、看護部門職員が91.1人、全職員では188.5人で、前年度に比べ38.9人(26.0%)増加している。

第8表 職員業務量の状況の推移

項目	年 度					対前年度比較		
	H28	H29	H30	R1 a	R2 b	b - a c	(c/a) ×100(%)	
職員1人当たり患者数(人)	584	578	568	558	352	▲206	▲36.9	
職員1人当たり料金収入(千円)	13,641	13,988	14,100	14,375	9,644	▲4,730	▲32.9	
病床100 床当たり	医 師 (人)	17.3	17.2	17.4	17.7	47.6	29.9	168.9
	看 護 部 門 (人)	84.3	86.0	87.2	86.8	91.1	4.3	5.0
	全 職 員 (人)	142.2	146.2	149.1	149.6	188.5	38.9	26.0

キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は180億63百万円で、前年度に比べ3億39百万円（1.8%）減少している。これを料金収入に対する割合で見ると24.2%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇している。

医療材料費のうち、薬品費は93億75百万円で、前年度に比べ4億円（4.1%）減少しており、患者1人当たりの薬品費は3,439円で、前年度に比べ166円（5.1%）増加している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較		
		H28	H29	H30	R1 a	R2 b	b - a c	(c/a) ×100	
料 金 収 入		71,927	74,446	75,432	76,976	74,706	▲2,270	▲2.9	
医 療 材 料 費		17,028	17,638	17,670	18,402	18,063	▲339	▲1.8	
う ち	薬 品 費	8,997	9,021	9,031	9,775	9,375	▲400	▲4.1	
	そ の 他 材 料 費	8,031	8,617	8,638	8,627	8,688	61	0.7	
料金収入 に対する 割合	医 療 材 料 費	23.7	23.7	23.4	23.9	24.2	0.3	-	
	う ち	薬 品 費	12.5	12.1	12.0	12.7	12.5	▲0.2	-
		そ の 他 材 料 費	11.2	11.6	11.5	11.2	11.6	0.4	-
患者1人当たり薬品費(円)		2,923	2,933	2,971	3,273	3,439	166	5.1	